



オープニングにはちびっ子よさこいで元気に



あやめ撮影会には多くのカメラマンが



あやめウォークで園内を周遊

“鏡石あやめ祭り”

6月21日(土)・22日(日)鳥見山公園で、第11回鏡石あやめ祭りが開催されました。今年は雨中の祭りとなりましたが、撮影会、あやめウォーク、各アトラクションには多くの方が参加来場されました。雨に濡れた「あやめ」もまた格別、来場者の目を和ませていました。

かがみいし 議会だより

No. 153

平成26年 9月

発行 福島県鏡石町議会
編集 議会広報編集委員会
〒979-0401 福島県岩瀬郡鏡石町
不時沼345
電話 0248(62) 2110
印刷 (有) 永山印刷



道の駅「竜北」(熊本県)を視察

地場産業の振興

農作物6次化など調査



平成26年度行政視察調査は6月25日(水)から28日(土)の日程で実施されました。

今回の調査事項は①地場産業振興、②商業活性化、③農産物6次化産業等で、宮崎県都城市、高鍋町そして熊本県水川町の自治体等を訪れ、視察研修しました。

都城市では地場産業振興センターにおいて、地域の伝統工芸品の振興策等を研修。併設される「道の駅都城」の運営等も併せて研修しました。同センターは一般財団法人として運営され、地元製品の販売・市場開拓のため、大規模

な商談会等も開催している。高鍋町では地元商店街が自らの商業活性化のために3つのプロジェクトを戦略的に実行、町活性化のために「新しい賑わい」を創造した。これら一連の事業について研修したが、商店街後継者らの熱意を強く感じた。

第一に最近の降雨が「観測史上初」が連発される雨量の多さです。これはCO2による地球温暖化のためと言われている。第二に間伐など森林の手入れが金にならないためなされず、樹木の根が浅く崩れ易くなっていると言われています。私達は目先の利益と利便さだけを追い求めていると、いつか自然の仕返しを受けるところを、今こそ思い知るべきではないかと思えます。

水川町では「道の駅竜北」や地場産品加工センターにおいて、地元農産物の直売や加工品の販売戦略等を研修。特に晩白柚を使った商品については、他に類がなく、大手菓子店による販売が展開される等、今後注目される商品とのことであった。

高鍋町で3つのプロジェクトについて研修

高鍋町で3つのプロジェクトについて研修



小林政次議員



仲沼義春議員

農業委員会委員2名を推薦

6月定例議会において、町長が選任する議会推薦の農業委員に、仲沼義春(仁井田)及び小林政次(笠石)の2名の議員を推薦することに決定しました。

町農業委員会委員は本年7月19日をもって任期満了となるため、法規定に基づき議会が推薦するもので、推薦された農業委員の任期は、公選委員と同様7月20日から3年間となります。

農地流動化や後継者問題など農業形態の多様化及びグローバル化によって、農業委員会が果たす役割も複雑多様化していると言われています。PPP問題等を乗り越え、より良い農業発展のために、新農業委員には期待が寄せられています。



高鍋町で3つのプロジェクトについて研修

- 発行責任者 議長 渡辺 定己
 広報編集委員会
 委員長 円谷 寛
 副委員長 大河原正雄
 委員 菊地 洋
 委員 長田 守弘
 委員 小林 政次
 委員 仲沼 義春

編集後記

広島市で死者行方不明者70余名を出す土砂災害が発生しました。去年10月伊豆大島で39名の死者行方不明者を出したばかりです。なぜこのような土砂災害が多発するのでしようか。

第一に最近の降雨が「観測史上初」が連発される雨量の多さです。これはCO2による地球温暖化のためと言われている。

第二に間伐など森林の手入れが金にならないためなされず、樹木の根が浅く崩れ易くなっていると言われています。

私達は目先の利益と利便さだけを追い求めていると、いつか自然の仕返しを受けるところを、今こそ思い知るべきではないかと思えます。